

景況レポート

(7月分・情報連絡員 80名)

回復感は弱いながらも、DI値は3カ月ぶりに上昇

【概況】7月分の県内景況は、前年同月と比較して、景況が「好転」したとする向きが8.8%（前月調査10.0%）、「悪化」が42.5%（同51.3%）で、業界全体のDI値は-33.7となり、前月調査と比較し7.6ポイント上回った。

内訳として、製造業全体のDI値は-21.9で前月調査（-43.7）に比べ21.8ポイント上回った。また、非製造業全体のDI値は-41.6で前月調査（-39.6）に比べ2.0ポイント下回った。

製造業は、国産材の需要が増加した製材業が中心となって全体を押し上げた。非製造業は、3カ月連続でポイントが低下し、自動車販売業は登録車が13カ月ぶりで前年同月を下回った。全体としては安心材料に乏しく、回復感は弱いままである。

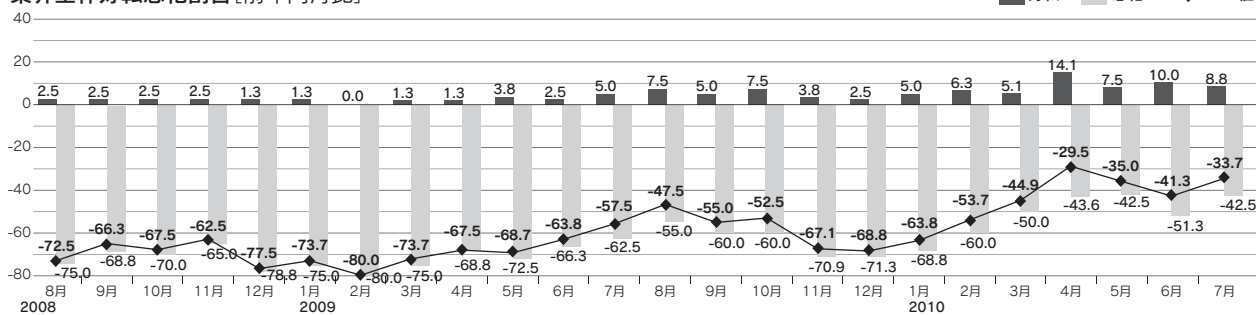
(回答数:80名 回答率:100%)

| 項目 | 業界の景況 | 売上高 | 販売価格 | 取引条件 | 資金繰り | 雇用人員 |
|------|-------|-----|------|------|------|------|
| 製造業 | ☔ | ☔ | ☔ | ☔ | ☔ | ☔ |
| 非製造業 | ☔ | ☔ | ☔ | ☔ | ☔ | ☔ |

【凡例】
 ☀ 快晴 30以上
 ☁ 晴れ 10以上 30未満
 ☁ 曇り △10以上 △30未満
 ☔ 雨 △10未満 △10未満
 ⚡ 雷雨 △30以下
 【天気図の見方】
 前年同月のDI値をもとに作成しています。

※DI値とは、Diffusion Index（ティフュージョン・インデックス）の略で、増加（好転）したとする企業割合から、減少（悪化）したとする企業割合を差し引いた値です。

業界全体好転悪化割合[前年同月比]



業界の声

| | |
|--------|--|
| 麺類製造 | 気温の上昇により「冷やし物商品」の動きが若干感じられたが、先行きは不透明である。 |
| 清酒製造 | 6月分の清酒出荷量は、1,659 kLで、前年同月比98.1%で推移した。タイプ別では、吟醸酒が前年同月比で105.3%、純米酒が91.4%、本醸造酒が89.6%、レギュラー酒が99.3%という状況となっている。 |
| 味噌・醤油 | 6月分の出荷量は、前年同月比で味噌が88.7%、醤油は91.1%で推移した。 |
| 木材・木製品 | 【一般製材】 国産材の利用を促進する国の施策により、大手ハウスメーカーが外材から国産材に転換しているため、乾燥設備、集成材生産ともに操業度を上げている。 【素材生産】 まだ回復といえる状況ではないが、合板用素材の価格は持ち直しつつある。受入量が増えているので今後に期待している。 |
| 漆器製造 | 10月開催の漆器の全国大会（ジャパンサミット）と、その後に川連塗りフェアがあるため、その準備で産地に活気があるように見受けられる。 |
| 自動車販売 | 7月の新車販売台数は、登録自動車が2,232台（前年同月比89.4%）、軽自動車が1,850台（同102.6%）で、合計4,082台（同94.9%）であった。6月に県の補助金が終了ということで予想以上の駆け込み需要があり、その反動で7月は前年度比マイナスとなった。 |
| 石油販売 | ガソリン1ℓ当たり136円で前月比2円引き下げ、軽油1ℓ当たり114円で前月と変わらず、配達灯油は18ℓ1,463円で前月比5円の引き下げとなった。7月の後半から、夏商戦本番を控えて小売価格の過度な下げが見えられた。 |
| 電機販売 | 先月に引き続き、エアコンの需要が伸びており、冷蔵庫も顕著に伸びている。今のところ安定的に推移しており、白物家電に関してはやや右肩上がりである。 |
| 商店街 | 【秋田市】 家電販売のテレビとエアコンは好調だが、それ以外では厳しい状況になっている。駅前ではヨーカドーが閉店セールを実施しており、売上を伸ばしている。 【能代市】 26日、27日に開催した夜店で23,000人と昨年以上の人出があり、来月の七夕も多くの人が出が予想される。 |
| 管工事 | 【秋田市】 今年の資材の売上は、これまで前年同月比で微増が続いている。 【由利本荘市】 お盆前に引き渡しをする工期の物件や、支払いを済ませる計画の公共工事があり、忙しいという会社が増えてきている。 |